

令和6年度 第8回千歳市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和7年2月25日(火) 14時00分～15時20分

会 場 議会棟大会議室

出席者 品田会長、石田委員、早野委員、佐々木委員、高本委員、吉田委員、鈴木委員、横岡委員、五十嵐委員、藤村委員、藤本委員、浜委員、山北委員、小田委員、立田委員、立花委員、沼田委員、經亀委員、杉浦委員、藤吉委員、橋本委員、杉村委員、笹森委員

欠席委員 小林副会長、金山委員、木滑委員、池田委員、中山委員

事務局 米澤企画部次長 交通政策課 倉重課長、遠藤係長、木津主事

傍聴者 3名(随行者：道南バス、北海道運輸局、石狩振興局)

【次 第】

- 1 開 会
- 2 報告事項
- 3 協議事項
- 4 その他
- 5 閉 会

【協議結果】

- ・報告事項(1)～(2)について、承認された。
- ・協議事項(1)～(2)について、承認された。

【会議要旨】

報告事項

- (1) 自動運転バス実証実験における実施報告
- (2) A I オンデマンド交通実証実験における実施報告
(事務局より資料1に基づき説明)

(会長)

報告事項(1)「自動運転バス実証実験における実施報告」、報告事項(2)「A I オンデマンド交通実証実験における実施報告」についての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(委員)

自動運転システムの最終的な目標はレベル5であると思うが、まずはレベル4に向けて進んでいる状況であると感じている。レベル4の実現については、各地域の特性や地形、交通の状況によって異なると思うが、どの段階でレベル4の実現が可能であるか判断されるのか。

(事務局)

国においては、2027年度（令和9年度）までにレベル4の自動運転を実施する地域を100か所以上定める方針で進めている。本年度については、国土交通省において99か所の自動運転の実証実験の補助事業の採択があった。

全国的には、平塚市や塩尻市をはじめとする自治体がレベル4の実現に向けた取り組みを進めており、すでにレベル4の認可を取得した事例もある。レベル4の認可取得には、国が定める基準を満たすことが必要であり、基準を満たせるよう実証を重ねた上で、レベル4相当の実証実験を行うことができた段階で、国に対しレベル4の認可申請をすることができる。

北海道においては冬道が課題となり、当市の委託事業者やメーカーにおいて冬季の自動運転に関する実証経験がない状況であるが、次年度に向けて冬道での走行について検討を進めている。

また、道内の他地域では、苫小牧市や上士幌町、当別町において、小型の自動運転車を用いた冬道での実証が行われている。最近では、各実証事業を進める自治体や事業者、大学教授などが参画し、北海道の冬道における自動運転技術の確立に向けて知恵を出し合う動きが広がっている。

(委員)

資料11ページにはAIオンデマンドの登録者数と利用者数が記載されており、登録者数は524名であるのに対し、実際の利用者数は184名であることから、登録はしたものの利用に至らなかった者が相当数いるが、利用されなかった要因について把握していることはあるか。

(事務局)

昨年11月よりAIオンデマンドシステムの実証実験を開始し、それに先立ち10月中には全体説明会や各町内会での説明会を実施するとともに、システムの登録作業の支援を行い、多くの住民に登録していただいた。その際、スマートフォンを所有する高齢者と共に登録作業を行ったが、氏名の入力など、スマートフォンの操作面で難しいと感じる高齢者が多かったことに加え、Webによる予約申し込みについても操作が難しいとの印象を受けており、スマートフォンの操作が障壁となったことが利用に至らなかった要因であると考えられる。実際に地域住民からも、高齢者にとってスマートフォン操作が困難であるとの声が寄せられており、今後は根気強く利用方法の説明会を実施し、利用率の向上を図る方針である。

(委員)

石狩市では、イオンなどの大きなショッピングセンターにおいて、市職員がAIオンデマンド交通の予約方法などの操作方法について勉強会を実施しているため、参考にしていきたい。

(会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、報告事項(1)「自動運転バス実証実験における実施報告」、報告事項(2)「A I オンデマンド交通実証実験における実施報告」については、報告済みとしてよろしいか。

(一同：意義なし。)

協議事項

(1) 路線バスにおけるダイヤ等の見直し

(事務局より資料2に基づき説明)

(会長)

協議事項(1)「路線バスにおけるダイヤ等の見直し」についての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(委員)

現状、全国的に運転手不足が課題となっており、他自治体でも大幅な減便が行われている状況を踏まえると、千歳市においても減便が発生することは致し方ないと考ええる。特に、運転手不足という状況を考慮した上での判断であり、現実的な対応であると考ええる。

今回提示されたダイヤについて拝見したが、運行間隔の調整や実際の利用状況を元に、減便する便を精査していることや利用者への配慮もなされているなど、バス事業者の努力が感じられる提案であったため、今回提示されたダイヤには問題がないと考ええる。

(会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、協議事項(1)「バス路線の見直し」については、協議済みとしてよろしいか。

(一同：意義なし。)

(2) 令和7年度千歳市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)

(事務局より資料3に基づき説明)

(会長)

協議事項(1)「令和7年度千歳市地域公共交通活性化協議会事業計画(案)」についての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、「令和7年度千歳市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）」については、協議済みとしてよろしいか。

（一同：意義なし。）

（会長）

全体を通して他にご意見、ご質問があれば発言願いたい。（特になし）

円滑な進行にご協力をいただき感謝申し上げます。それでは、事務局に進行をお返しする。

（事務局）

次回の開催については、年度をまたぎ、次年度に開催を予定しており、詳細については改めて連絡させていただく。

また、年度をまたぐ関係で、異動等により役職に変更や委員の引継ぎなどがある場合には、事務局まで連絡いただくようお願いする。

以上をもって、本日の会議を終了する。

以 上